



# 鳥取市総合教育センターだより

第3号 令和4年 9月27日発行

〒680-0053  
鳥取市寺町 150 番地  
TEL: 0857-36-6060  
FAX: 0857-26-3878  
E-mail:  
kyo-center@city.tottori.lg.jp

## 不登校対策専門委員会・いじめ防止対策推進委員会より

所長 安田 直人

総合教育センターでは今夏、それぞれ本年度第1回目の鳥取市不登校対策専門委員会・鳥取市いじめ防止対策推進委員会を開催し、専門家や有識者、関係諸機関、小・中学校長会の方々より、本市の現状や取組等について御意見をいただきました。

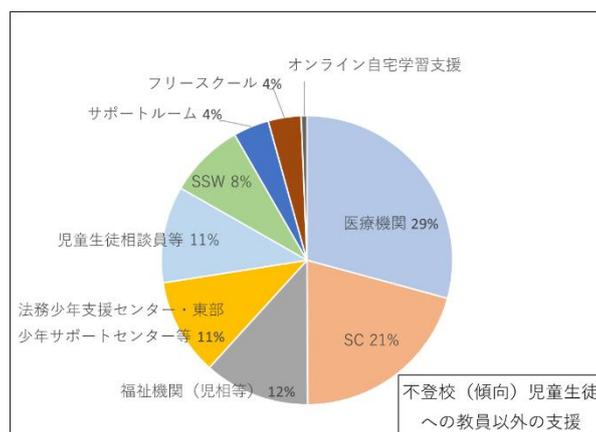
不登校児童生徒数は、全国傾向と同様に本市においても年々増加しており、昨年度は小学校 155 人（出現率 1.63%）、中学校 240 人（同 5.17%）で、平成 8 年の調査開始以降最多でした。各学校においては、不登校が生じないような学校づくりとともに、不登校やその傾向にある一人ひとりの児童生徒に対して効果的な支援を行っていただいているところです。昨年度は、担任の先生をはじめ、小学生 90.1%、中学生 83.4%が担任以外の先生や専門機関の方々とのつながりがありました。

右欄は「家庭で実践できる」と保護者向けに紹介された新聞記事の一部ですが、不登校（傾向）の子どもたちは、親や周囲との「人とのつながり」の中でこのように自己肯定感が育まれ、社会的自立に向けて歩みを進められるのだらうと思います。

いじめの認知については、各学校で細やかに児童生徒の困り感を把握し、「いじめが疑われる」事案が積極的に認知されている結果、近年は年間約 1,400 件程度で推移しており、昨年度は 1,456 件（小学校 1,307 件、中学校 149 件）でした。年度末時点で「解消済み」78%、「解消に向けて取組中」22%であり、粘り強く丁寧に対応がなされている様子が見えられました。一方、「同一児童生徒による」いじめ件数が、前年比 10 倍以上の 462 件にのびりました。これは特定の学校の一人による件数ではなく、多くの学校で同一児童生徒により繰り返し行われたいじめの累計数です。

いじめ（が疑われる事案）の対応にあたっては、いじめを受けた児童生徒の支援・ケアとともに、いじめを繰り返さないために、いじめを行った児童生徒への適切な指導・支援が欠かせません。そのためには、表出した言動・現象のみを捉えた対症療法的な指導に終始するのではなく、いじめを行うに至った背景、発達課題や愛着課題等の要因の見取りとそれに応じた支援が必要です。個人や学年団の判断に留めることなく校内組織で情報が迅速に共有され、より多面的・多角的にアセスメントすることが求められます。

また、特に中学校において、いじめを受けていても「誰にも相談していない生徒」が一定数おり、その数が年々増えてきていることから、周囲に助けを求める等 SOS を発信することについて学ぶ必要があるように感じました。



不登校（傾向）児童生徒への教員以外の支援

### 自己肯定感を育む4ステップ

- ① 認めてくれる人の存在を実感する
- ② 自分のいいところに気づく
- ③ 成功体験を重ねる
- ④ 誰かの役に立てることを知る

不登校新聞（全国不登校新聞社）585号